

舵輪

ボート通信

あこがれ 一九九六航海型(小笠原航海)編 一九九六年八月二八日、九月九日(一泊三日) No.9631
No.267 酒井 聰

九・競え、ゲロリンピック 九月七日
天候 晴れ

船内生活って慣れてくると単調になってきちゃうんだな! つまり、起きて食事してワツチまた、食事してワツチの繰り返しそこで、ちやんと考えてあつて、運動会がある! 名づけてゲロリンピック!

まずは、フェイスポイントで選手入場です。みんな顔になつてます。次は、キヤブテンによる開会の辞(いままで、大変だったが、今日は、ワツチのことは忘れて大いに楽しんで内容)そして、選手宣誓!(あこがれ精神にのっとりつてやつ!)

いよいよ競技開始、障害物競争。ただでも障害物の多い甲板をさらに、椰子の実やデッキブラシ、ホーリーストーンで足元が危ない!とこをワツチチームごとりにリレーです! ちなみに、ワツチグループは、カペラ、スピカ、リゲルです!

あと、クルーチームとの四チーム対抗戦です! 借り物競争は、船内のドコカにある物を探し出してくるんだが、これが見つかんない! ワツチや船内生活をちやんとしたら分かるっていうけど、うん、無い無い! だれか教えて!!!
いよいよ大詰め! 綱引き! パチパチ! でもね狭いデッキじゃ直線じゃ場所を取れないから滑車を使ってV字に引くん! 二六ひくぶじゃなくて、せいのワツシヨイでガンバれ! でも、滑車で丈夫だよな!
じゃーん! いよいよ結果発表! ジヤジャン! 優勝はカペラ! ヤッホー! 優勝じゃ! 優勝のご褒美は外国のアイスだ! ちなみに、オーストラリア産でした。あこがれの海外航海のお土産らしい。お味はうん大ざっぱな味。他のワツチにもちやんと分けて食べました!
(次号につづく)

係がら

分家副会長、ボランテアを激励される

去る四月二三日(日)、当財団副会長である分家新湊市長がお見えになりました。二〇〇〇年最初の展帆作業をシエル・ステージから視察され、午前の作業が終わったところでボランテアに対し激励の言葉をいただきました。参加ボランテア及び乗組員一同、登舷礼をもってこたえました。

市原義三先生、ボランテアを激励される

同じく四月二三日(日)、当財団初代常務理事の市原義三(海王丸第三代船長)先生がお見えになりました。展帆作業をご見学され、風速一五メートル毎秒の強風にもかかわらず計一五枚の帆を事故やけがも無く張ることができたことについて、痛く感動された様子でした。また、反省会時にはボランテアを激励され、金一封(吉拾萬円)を頂戴しました。現在、財団でお預かりしていますが、この使い道はボランテアの皆さんで話し合せて決めていただきたく思っています。名案等があれば係までお願いします。

また、当時の事務局長であり、現在はボランテアとしても活躍中の勝山先生もお見えになり、当時の、想像以上の苦労等にベテランボランテアは懐かしく感じていたように見受けられ、新参の小生はただだまって頷くだけでした。

展帆等データ

| 日時 | 名称 | 気象 | 参加人数 | その他 |
|-------------------|--------|-----|------|-----|
| 四月二日(日) | | 再訓練 | 晴 | 四三 |
| 四月九日(日) | | 再訓練 | 晴 | 三五 |
| 四月一五日(土) | | 集い | 雨 | 五六 |
| 四月二三日(日) | 第一イン新湊 | | | |
| 四月二三日(日) | 総帆展帆 | 晴 | | |
| 西南西の風15m/s | 九一名、 | | | |
| ポートタックシャープアップヤーズ、 | | | | |

一五枚展帆
五月五日(祝) 総帆展帆 晴、北東の風4m/s 九九名、スタ
Iポードタック3ポイントヤーズ、
二九枚展帆 技術講座、ロープの扱
い方

なお、集いには、財団代表として分家副会長が出席し、来賓として次の方々が出席されました。

中井 富山県理事
飯田 富山県日本海政策課長
分家 新湊市長
宮田 新湊市港湾課長

海王丸乗組員プロフィール

四月一日付けで篠塚船長が業務部長から理事に昇任し、また、二名の異動により新メンバーでスタートとしました。さて、ボランテアの一部から、「乗組員の顔と名前が一致しない」、「交流を深めたい」という声があります。長続きするつき合い方を目指しています。そこで今回、我々の簡単な紹介をさせていただきます。皆さんとの接点を展帆以外でも見つけたいと思います。小生を筆頭に、普段難しい顔(妻にはよく人相が悪いといわれるのが癪である。)をしています。特に理由はありません。以後、気軽に声を掛けて下さい。

あこがき

五月五日(祝)の第九〇回総帆展帆には九九名が参加され、これは平成七年六月一八日(日)第四三回目の一〇八名以降最多人数でした。ちなみに、歴代最高は平成二年四月二八日(日)第一回目の一七〇名です。

皆さんの中には、総帆展帆日、仕事日を変更して参加下さる方、当日展帆を優先し他のボランテア活動を断つて参加下さる方、前日から家を出発して参加下さる方、色々いらつしやると思います。今後、色々な面でお願いをすることがあるかも知れませんが、どうか体調には十分に留意され、気持ちよく活動されるようお願いいたします。

舵輪

SPENCING THE MAN BRACE ボムバッチの通信

十・反乱、トレーニーズデイ 九月八日 天候 晴れ

ゲロリンピックが終わり、こんどはトレーニーズデイです！これは、いままでクルーにこき使われていたお返しをする日（ウソ）。つてシナリオはなんでもいいわけで、やっぱりその予定に！まずは、首謀者を決める。ブレーンを集めて明日の決行の準備を夜中までやってました。反乱旗に衣装（笑）を作り、クルーを縛り上げる。ロープを束ねて、いよいよ明日は・・・

一夜明けて、なにごともないようにトレーニーズ全員が、いつもの日課に入りました。タンツに始まり、朝食、クルーミーティング（前日の反省と一日の予定の確認）、つがなく終わろうとした時に暴動開始！まずは、トレーニーズ全員が蜂起！クルーを縛り上げ、船を支配し、以下を宣言！

トレーニーズは、あこがれの理不尽なクルーの処遇に対しこれを排除し、船の自由を獲得した！

ついに、あこがれに自由が解放された！すぐに、フルセイル（帆をすべて張る）を始める。もちろん、安全を考慮し、人質のクルーの指示を仰ぎ、作業開始。安全第1自由に向かった！

ついでに、シナリオに戻り、縛り上げていたクルーの一部逃げだし、事もあろうか、船の一部を爆破してしまい、船を退去せねば！退船部署スタート！例のボートを組み立て十名づつ船を下りて、あこがれを一周する。このときがあこがれの帆走をじっくりと見ることができ、唯一のチャンスです！トレーニーズデイならではの事！あこがれの雄姿が太平洋を滑っている姿は、あなたそりゃ素敵ですよ！（短い航海ではできない！）これぞ！帆船！感動ものです！

- 一・発見者はすぐに大声でクルーに知らせる。
- 二・海中転落者を見失わないように、マストに登り、指で方向を示す。
- 三・ライフブイなどの浮力をもつものを海に投げ込む。
- 四・船内への連絡は船内マイク放送にておこなう。
- 五・帆走時はただちにセイル・ステーションにつく。

つまり、見つけた人は大声で叫びながら、マスト（高所）にのぼり、転落者の方を指さすこととです。しかし、船は急ブレーキをかけて止まるって事はできない。船舶は、その重量と水の抵抗では、直ぐに停止できない。たとえ、スクリュウを逆に回しても大きな慣性ではダメです。ましてや、帆船では風で進んでいるため、帆を畳むだけでも時間がかってしまいます。だから、帆船に乗ったら転落しないようにどこにでももたれかからない事！揺れた拍子にドボンとなりませう！（お、コワ！）

沖に投錨。少し長めの航海では最終日の前日は入港する近くで安着を祝う会（パーティ）をするのが習わしです？今夜は、ワッチごとにしものを決めて演芸会です！各ワッチごと、歌を歌ったり、寸劇を披露したり、ゲームをしたりして、最後の夜を名残惜しそうに過ごしました。

十一・さらば、雨の中の下船

ついに、航海も最後の日となりました。大阪南港に戻るコース、トレーニーズ全員があこがれのお掃除！各ボンクから、食堂、シャワー室、トイレに廊下、階段そしてデッキを磨く！コースは関西国際空港の横を通り途中、連絡船が近くまでよってきたりしていました。また、このときトレーニーズ達はかなりナーバスになっていました。航海での思い出と、これからまた立ち向かう現実の日々を考えるもの、さまざまだけど、この航海で体験したことは、各自の生活のなかでは、小さな思い出かもしれないが、ズシツとした重しになるのでは！

船内での後片付けも終わり、メスルムに集合したところで、キャプテンより乗船記念の修了証の授与です。航海距離は「521海里です。（内237海里を帆走しました）トレーニーズたちは、お互いに住所をノートに書き込んだり写真を撮ったりして、これで本当に最後なんだねと確認してうつすらと涙を浮かべるものもいたような？雨の中、クルーは南港に接岸準備に追われていました。さて、ついに下船の時がやってきました。クルー達に見送られてトレーニーズ達はあこがれを後にゆつくりと下船です。

また、いつか乗船すると心に誓う者、すでに次の乗船の申込を済ました者、たぶんもう乗らないだろう者、また、乗船体験をこれからの人生に何らかの形で生かす者、また集う者、笑う者、涙する者、それぞれトレーニーズの姿がありました。それまでは、とても体験できないと思っていたことや出会いにおおいに感激したことや思い出として大切にしたいこと！さらに、同乗されたトレーニーズ達と、クルーの面々に感謝！

（おわり）

SPENCING THE MAN BRACE ボムバッチの通信 ボムバッチの申羅手

『思い出（船酔い）研究』 No.404

辻田 豊